

県央地域農業振興協議会

(長崎県諫早市、大村市、東彼杵町、川棚町、波佐見町)

R4補正
R5当初

94

背景・課題

県央地域では、諫早湾干拓地をはじめ各地でブロッコリーが栽培され、産地化している。近年、ブロッコリーの連作ほ場において、防除が困難な土壌病害である根こぶ病の発生が課題となっており、農薬散布やおとり作物の導入等、複合的に病害防除に取り組んでいるものの、依然として発生している状況。



諫早市

構成員

県央振興局、諫早市、大村市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、長崎県央農業協同組合、長崎西彼農業協同組合、長崎県農業共済組合、農林業技術開発センター、諫早農業高等学校

品目

ブロッコリー（露地）



目指すグリーンな栽培体系

- 転炉スラグの活用による化学農薬の使用量低減
- 根こぶ病の予防や防除にかかる作業工程の削減

取組の内容

調達

環境にやさしい栽培技術について、「転炉スラグ*」を活用し、土壌pHを弱アルカリ性にするすることで、根こぶ病発症を抑える技術を実証。また、従来行っていた石灰資材の施用や根こぶ病発病株の持ち出し等、発病予防や病原菌の防除にかかる作業工程を削減させ、作業の省力化を図る。これらの技術については、実証ほの現地調査で得た結果を基に栽培マニュアル・産地戦略を作成するとともに、完成したものは県HPで公表し、実証結果の情報発信に取り組む。

生産

* 製鉄所において、せん鉄から鋼を製造するための転炉で副成される資材。

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月



転炉スラグの搬入



転炉スラグ散布



転炉スラグ投入なし



転炉スラグ投入あり
+ 耐病性品種

普及に向けた取組

本事業で実施した検証の結果等により作成したグリーンな栽培マニュアルを踏まえて、地域の現行の栽培暦をグリーンな栽培暦に改定する。改定した栽培暦を地域で普及させるために、協議会で産地戦略を策定し、県央地域でのグリーンな栽培体系の定着を目指す。

問い合わせ先

長崎県県央振興局（農林部）

TEL：0957-22-0057、Email：s34416@pref.nagasaki.lg.jp